

422-VR01000-004

TASCAM

VR-01







Stereo IC Recorder













取扱説明書

安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。



	警告 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意 万一、異常が起きたら煙が出たり、変なおいや音がするときは機器の内部に異物や水などが入ったときはこの機器を落としたり、カバーを破損したときはすぐに機器本体の電源を切り、USB ケーブルを抜いてください。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）に修理をご依頼ください。
	禁止 この機器の隙間などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込む、または落とさない 火災・感電の原因となります。
	分解禁止 航空機の離着陸時には使用しない 航空機の運航の安全に支障を及ぼす恐れがあるため、離着陸時の使用は航空法令により制限されていますので、離着陸時は本機の電源をお切りください。
	分解禁止 この機器のカバーは絶対に外さない カバーを外す、または改造すると、火災・感電の原因となります。 内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）にご依頼ください。
	分解禁止 この機器を改造しない 火災・感電の原因となります。





	警告 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意 イヤホンやヘッドホンからの過度の音圧は、聴覚障害の原因となります。聴覚障害の可能性を防ぐために、長時間、高音量で聴かないください。
	注意 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
	指示 オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明にしたがって接続する また、接続は指定のコードを使用する
	指示 イヤホンを使用する前には、本機の音量を最小にする 突然大きな音が出て、聴覚障害などの原因となることがあります。
	指示 移動させる場合は、外部の接続コードを外す ケーブルが傷つき、火災・感電の原因や、引っ掛けてけがの原因になることがあります。
	禁止 ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない 湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たる場所に置かない 火災・感電やけがの原因となることがあります。

	注意 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物理的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
	禁止 濡れた手でコネクタを抜き差ししない 感電の原因となることがあります。
	注意 5年に1度は、機器内部の掃除を販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）にご相談ください。 内部にほこりがたまってきたまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行くと、より効果的です。なお、掃除費用については、ご相談ください。

充電式電池の取り扱いについて

本製品は、内蔵バッテリーにリチウムイオン充電電池を使用しています。誤って使用すると、発熱、発火、液漏れなどの恐れがあり、それを避けるため、以下の注意事項を必ず守ってください。

	警告 充電式電池に関する警告。
	禁止 充電式電池の液が漏れたときは、素手で液をさわらない 液漏れが発生したときは、ティアック修理センター（巻末に記載）にご相談ください。 液が目に入ったときには失明の恐れがありますので、目をこすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師にご相談ください。 液が体や衣服に付いたときは皮膚のけが・やけどの原因になるので、きれいな水で洗い流したあと、ただちに医師にご相談ください。

	警告 充電式電池に関する警告。
	禁止 指定以外の USB ケーブルを使用しない 充電を行うときは、必ず指定の USB ケーブルを使用してください。指定以外の物を使用すると過熱により、けが・やけど・火災・汚損や電池の破裂、液漏れの原因になります。
	分解禁止 火の中に入れてたり、火のそばや炎天下などで充電したり、放置したりしない 電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
	分解しない 思わぬ発火の原因になります。点検・修理は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）にご依頼ください。

充電電池のリサイクル

本機には、内蔵バッテリーとしてリチウムイオン充電電池を使用していますので、リサイクルが可能です。

不要になった製品は、貴重な資源を守るために廃棄しないで、タスカム カスタマーサポート（巻末に記載）にご相談ください。



目次

安全にお使いいただくために	2
充電式電池の取り扱いについて	3
充電電池のリサイクル	3
はじめに	5
本製品の構成	5
本機の概要	6
設置上の注意	6
結露について	7
製品のお手入れ	7
アフターサービス	7
各部の名称	8
トップパネル	8
サイドパネル	9
電源の準備	11
電源のオン・オフ	12
パソコンと接続	12
本機のフォルダー構造	13
音楽ファイルの取り込み方法	13
日時の初期設定	14
録音するには	16
録音操作	16
再生するには	18
再生操作 (録音 / 音楽ファイル)	18
再生中に操作可能な動作	20
A-B 間リピート	20
リピート設定	21

再生速度設定	22
音量設定	22
消去 / 全消去設定 (File)	23
システム設定	24
本体操作	24
形式設定 (収録フォルダー)	25
LED 設定 (録音時)	25
輝度設定	26
消灯設定	26
待機設定 (自動オフ)	27
モニター設定	27
操作音設定	28
言語設定	28
残時間	29
日時設定	29
初期化設定	31
FW 情報	32
Reset (リセット)	32
トラブルシューティング	33
仕様 / 定格	34
商標および著作権に関して	37
TASCAM ID 登録について	39

ここに記載されております製品に関する情報、諸データは、あくまで一例を示すものであり、これらに關します第三者の知的財産権、およびその他の権利に対して、権利侵害がないことの保証を示すものではありません。従いまして、上記第三者の知的財産権の侵害の責任、またはこれらの製品の使用により発生する責任につきましては、弊社はその責を負いかねますのでご了承ください。

第三者の著作物は、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。装置の適正使用をお願いします。
弊社では、お客様による権利侵害行為につき一切の責任を負担致しません。

万一の誤消去や本機の故障などによるデータの消滅や破損に備え、大切な録音内容をパソコンなどにバックアップすることをおすすめします。

この装置は、クラス B 技術情報装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書にしたがって正しく取り扱いをしてください。

VCCI-B

はじめに

このたびは、TASCAM VR-01 をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しい取り扱い方法をご理解いただいた上で、末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。お読みになったあとは、本書をいつでも見られる所に保管してください。

また取扱説明書は、TASCAM のウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) からダウンロードすることができます。

本製品の構成

本製品の構成は、以下の通りです。

開梱は本体に損傷を与えないよう慎重に行ってください。

梱包箱と梱包材は、後日輸送するときのために保管しておいてください。付属品が不足している場合や輸送中の損傷が見られる場合は、タスカムカスタマーサポート（巻末に記載）までご連絡ください。

- 本体..... x 1
- USB ケーブル (長さ : 50cm)..... x 1
- 取扱説明書 (本書、保証書付き)..... x 1

メモ

- 本文中で、「ボタンを長押し」の表記は、押す時間が [約 2 秒以上] になります。

本機の概要

- 使用用途に合わせて使える「早聞き / 遅聞き」機能
再生速度を [- 8] ~ [+ 8] の ± 8 段階 (4% 刻み) で調節でき、会議や講義の文字起こしや速聴の際に役立ちます。
- 2 種類のリピート機能
 - 通常のリピート再生
フォルダー内の 1 ファイル、または全ファイルのリピート再生ができます。
 - 「A-B 間リピート」再生
一つのファイル内で、特定範囲の録音内容を繰り返し再生できます。
起点 A と終点 B を設定して、「A-B 間」のリピート再生 (*) を行います。
* 5 回リピート再生後、自動的に通常再生に移行します。
- USB 充電器で本機の充電を行う場合、本機の録音および再生操作が可能です。
- 本機の電源オフの状態でも、録音スイッチをオンすると起動して録音がスタートします。

設置上の注意

- 動作保証温度は、摂氏 5 度 ~ 35 度です。
- 次のような場所に設置しないでください。音質悪化の原因、または故障の原因となります。
 - 振動の多い場所や不安定な場所
 - 窓際などの直射日光が当たる場所
 - 暖房器具のそばなど極端に温度が高い場所
 - 極端に温度が低い場所
 - 湿気の多い場所や風通しが悪い場所
 - ほこりの多い場所
 - 直接雨などの水が当たる場所
- 本機の近くにパワーアンプなどの大型トランスを持つ機器がある場合にハム (うなり) を誘導することがあります。この場合は、この機器との間隔や方向を変えてください。
- テレビやラジオの近くで本機を動作させると、テレビ画面に色むらが出る、またはラジオから雑音が出ることがあります。この場合は、本機を遠ざけて使用してください。
- 携帯電話、無線ルーターなどの無線機器を本機の近くで使用すると、着信時や発信時、通話時に本機から雑音が出ることがあります。この場合は、それらの機器を本機から遠ざけるか、もしくは電源を切ってください。
- 放熱をよくするために、本製品の上には物を置かないでください。

結露について

本機を寒い場所から暖かい場所へ移動したときや、寒い部屋を暖めた直後など、気温が急激に変化すると結露を生じることがあります。

結露したときは、約 1 ～ 2 時間放置してから電源を入れてお使いください。

製品のお手入れ

製品の汚れは、柔らかい布でからぶきしてください。

化学ぞうきん、ベンジン、シンナー、アルコールなどで拭かないでください。表面を傷める、または色落ちさせる原因となります。

アフターサービス

- この製品には、保証書が添付（巻末に記載）されています。大切に保管してください。
万一、販売店印の捺印やご購入日の記載がない場合は、無料修理保証の対象外になりますので、ご購入時のレシートなどご購入店・ご購入日が確認できるものを一緒に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より 1 年です。保証期間中は、記載内容によりティアック修理センター（巻末に記載）が修理いたします。
- 保証期間経過後、または保証書を提示されない場合の修理については、お買い上げの販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）にご相談ください。

修理によって機能を維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

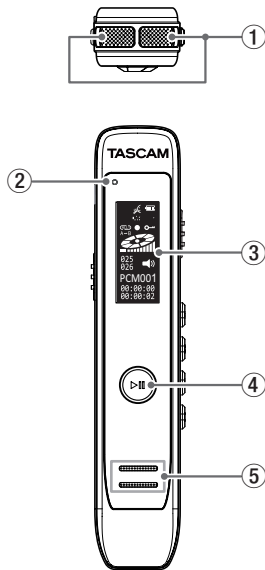
- 万一、故障が発生した場合は使用を中止し、お買い上げの販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）までご連絡ください。
- 修理を依頼される場合は、次の内容をお知らせください。
 - 型名、型番 (VR-01)
 - 製造番号 (Serial No.)
 - 故障の症状 (できるだけ詳しく)
 - お買い上げ年月日
 - お買い上げ販売店名

なお、本機の故障、もしくは不具合により発生した付随的損害（録音内容などの補償）の責については、ご容赦ください。本機を使ったシステム内の記録メディアなどの記憶内容を消失した場合の修復に関しては、補償を含めて当社は責任を負いかねます。

- お問い合わせ先については、巻末をご参照ください。
- 当社は、この製品の補修用性能部分（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後 6 年間保有しています。
- 本機を廃棄する場合に必要な収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

各部の名称

トップパネル



① 内蔵ステレオマイク

高音質ステレオ録音マイク（無指向性）

② 動作表示インジケータ

録音を開始すると LED ランプが点灯 (*) します。

- [赤・点灯] : 録音 / 録音一時停止中
- [消灯] : 停止中

* 録音時のインジケータ表示を [LED 設定] で、"オン/オフ" が可能です。(25 ページを参照)

充電中は、状態を下記の色で表示します。

- [赤・点滅] : 充電中
- [消灯] : 充電完了

③ ディスプレー

各種情報を表示します。

④ [▶ ||] 再生・録音 / 一時停止 ボタン

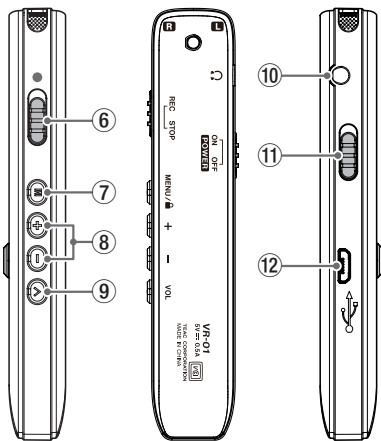
- 再生中、または録音中に押すと、一時停止します。
- 停止中に押すと再生を開始します。
- 再生中に長押しすると、再生が停止します。

⑤ 内蔵モノラルスピーカー

再生用の内蔵スピーカーです。

イヤホンを接続している場合、音が出力されません。

サイドパネル




⑥ [●] 録音 / 停止 スイッチ

- スイッチを [●] 側にスライドすると録音 (*) を開始します。
* 本機が電源オフの状態でも、録音スイッチがオンすると起動して録音を始めます。
- スイッチを反対側にスライドすると、録音ファイルを選択した録音形式のフォルダーに保存し、録音を終了します。

また録音中は、LED 設定が "オン" の場合に本機正面の動作表示インジケータ (②) が点灯します。

⑦ [M] メニュー ボタン

システム設定 / ファイル消去 / 再生設定 / A-B 間リピート / ホールド

- [システム設定]
停止中にボタンを押すと、システム設定を表示します。(24 ページ「システム設定」を参照)
- [ファイル消去]
停止中や再生一時停止中にボタンを長押しすると、選択中の収録フォルダー内の録音 / 音楽ファイルの消去 / 全消去が行えます。(23 ページ「消去 / 全消去設定 (File)」を参照)
- [再生設定]
再生中にボタンを長押しすると、再生設定メニューを表示します。(21 ページ「リピート設定」を参照)
- [A-B 間リピート]
再生中にボタンを押すと、リピートしたい区間 (A-B 間) を設定できます。(20 ページ「A-B 間リピート」を参照)
- [ホールド]
録音中にボタンを長押しすると、画面にホールドマーク  を表示して、各ボタンの操作が無効になります。

⑧ [⊖]/[⊕] ボタン

[⊖] 戻る・早戻し・音量(小)/[⊕] 進む・早送り・音量(大)

● [戻る / 進む]

録音 / 音楽ファイルの選択や各モードの設定中に、ボタンを押すと "前"、または "後" に移動します。

● [早戻し / 早送り]

再生中にボタンを長押しすると "早戻し(*)"、または "早送り(*)" を行います。

* 早戻し : 曲の先頭まで戻り、ボタンを離すと停止します。

* 早送り : 曲の終わりまで進み、ボタンを離すと次の曲をスタートします。

● [音量設定]


音量設定は、[V] ボタン(⑨)で音量設定モードにしてから、調節を行います。


各モード設定では、[項目選択・移動 / 値] を変更するときに使います。

⑨ [V] ボタン

音量 / フォルダ移動 / 戻る

● [音量調節]

停止中や再生 / 再生一時停止中(A-B間リピート含む)にボタンを押すと、マークが点滅し、音量設定モードをお知らせします。

マークが点滅5秒ほど点滅(*)しますので、その間に[⊖(小さく)] / [⊕(大きく)] ボタン(⑧)で行えます。

* 点滅が終わると、音量設定モードを解除します。

● [フォルダ移動]

停止中や再生 / 再生一時停止中(A-B間リピート含む)にボタンを長押しすると、録音 / 音楽ファイルを収録するフォルダ先 [PCM/NC/HQ/SLP/MUSIC] の5種類を選択(*)できます。

* ボタンを長押しする毎に選択フォルダが、順に切り換わります。再生 / 再生一時停止中(A-B間リピート含む)の場合、停止して、次のフォルダに移動します。

● [戻る]

各種設定時には、[戻る] ボタンとして機能します。

⑩ イヤホン端子

イヤホン(*)を接続します。

* 市販の3極のステレオイヤホンをお使いください。(マイク付きの4極イヤホンは、使用できません。)

⑪ 電源 スイッチ

スイッチをマイク側にスライドすると電源がオンします。反対側にスライドすると電源がオフ(*)します。

* 録音や録音一時停止中は、電源スイッチをオフにしても停止しません。[●] スイッチ(⑥)をオフすると録音ファイルを録音開始時のフォルダに保存して録音を終了後、電源をオフします。

⑫ microUSB 端子

付属のUSBケーブルを使用して、USBバスパワーを持つ外部機器(パソコンなど)のUSBポート(A type)に接続することで、本機の充電が行えます。また、パソコンと接続して本機の録音データや音楽ファイルの転送 / 保存 / バックアップが行えます。

(12 ページ「パソコンと接続」を参照)

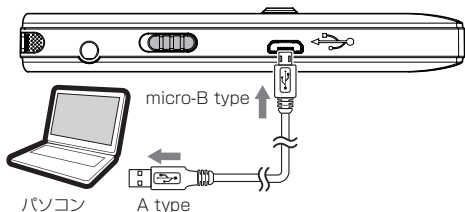
電源の準備

本機は、内蔵バッテリーにリチウムイオン充電電池を使用しています。

お買い上げ後にはじめて使用するとき、または長期間使用しなかったときは、充電をしてからご使用ください。

パソコンと接続して充電する

図のように、起動しているパソコンと本機を付属の USB ケーブルを使って接続します。




市販の USB 充電器を使用して充電する

市販の USB 充電器 (*) を使用して充電する場合、下記の USB 充電器のどちらかをご用意ください。

- USB 端子付き充電器 : A type
(付属の USB ケーブルを使用)
- USB ケーブル付き充電器 : micro-B type

* USB 用電源の出力は、DC 5V で 0.5A 以上の出力が必要です。

- 充電中は、本機の動作表示インジケータが [赤] に点滅し、画面に電池アイコン "  " の目盛りが増減を繰り返しながら、充電中をお知らせします。充電が完了すると電池アイコンの増減が停止して、動作表示インジケータが消灯します。

パソコンで充電中
画面表示



USB 充電器で充電中
画面表示 (起動中)



USB 充電器で充電中
画面表示 (待機中)



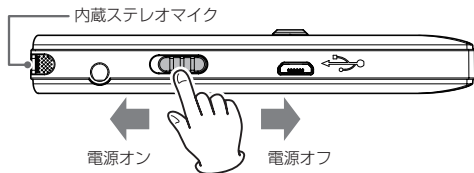
- パソコンと接続中は、充電とストレージ機能が優先され本機器での再生、録音の動作はしません。本機の画面に [USB] アイコンが表示します。
- 本機の起動中に USB 充電器で充電を行う場合、本機の録音および再生操作が可能 (*) です。
* 電源オフで充電している場合、電源をオンしてご使用ください。

メモ

パソコンとの接続は、付属の USB ケーブル (*) を使用して、USB ハブを経由せずに直接、パソコンと接続してください。

* 市販の USB ケーブルをご使用になる場合、高品質 (USB 規格認証ケーブル) のケーブルや、出来るだけ短いケーブルを使用してください。

電源のオン・オフ



電源オンする場合

電源スイッチ (⑪) をマイク側にスライドさせます。画面に "TASCAM" と表示して、停止画面になります。

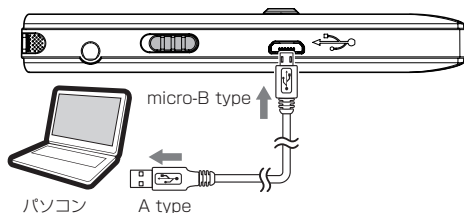
電源オフする場合

電源スイッチ (⑪) を反対側にスライドさせ、画面に "Good bye" と表示され、電源がオフします。

注意

録音や録音一時停止中は、電源スイッチをオフにしても停止しません。[●] スイッチ (⑥) をオフすると録音ファイルを録音開始時のフォルダーに保存して録音を終了後、電源をオフします。

パソコンと接続



図のように、起動しているパソコンと本機を付属の USB ケーブルを使って接続します。

また、パソコンと接続すると大容量 USB デバイスとして、録音データや音楽ファイル (*) の転送 / 保存 / バックアップが行えます。

* 本機で再生可能な音楽ファイルは、下記のファイルフォーマットになります。

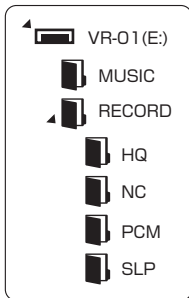
[MP3、WAV、AAC、WMA]
(34 ページ「仕様 / 定格」を参照)

注意

- パソコンとの接続は、USB ハブを経由せずに直接接続してください。
- パソコンと接続中は、本機の画面に [USB] のアイコンが表示します。

本機のフォルダー構造

Windows PC を例に本機のフォルダー構造を以下に示します。



注意

- ボリュームラベル名 "VR-01" の名前変更は、行わないでください。
- [RECORD] および [MUSIC] フォルダの名前変更は、行わないでください。
- [RECORD] フォルダ内の [HQ] ~ [SLP] フォルダの名前変更は、行わないでください。
- [MUSIC] フォルダ内の階層は、認識しません。また、音楽ファイルは必ず、直接 [MUSIC] フォルダ内に入れてください。

- 本機で録音されたファイルは、[RECORD] フォルダ内の録音時に選択した、下記のフォルダに保存されます。
[HQ]-[NC]-[PCM]-[SLP]
- 音楽ファイル (*) は、[MUSIC] フォルダ内にコピーして、お聞きください。
* フォルダ構造以外のフォルダの追加は、できません。
- [RECORD] フォルダは、本機の画面表示では [DVR] (Digital Voice Recorder の略) と表示されます。

画面表示：**DVR**

[MUSIC] フォルダは、本機の画面表示では [MUSIC] と表示されます。

画面表示：**MUSIC**

音楽ファイルの取り込み方法

1. パソコンを起動している状態で、付属の USB ケーブル経由で本機と接続します。
2. 本機の電源をオンにします。
3. パソコンが本機を大容量 USB デバイスとして認識後、パソコン上で本機のドライブ名 [VR-01] が表示されます。そのドライブ内の [MUSIC] フォルダを開きます。
4. 開いた [MUSIC] フォルダ内に、音楽ファイル (*) を置きます。
* 本機で再生可能な音楽ファイル (34 ページ「仕様 / 定格」を参照)
5. 本機に音楽ファイルの取り込みが完了後、パソコンから本機の取り出し (USB メモリーの安全な取り外し作業) を行い、パソコンと本機を接続している USB ケーブルを取り外してください。
6. 以上で、本機への音楽ファイルの取り込みは完了です。

日時の初期設定

本機をご購入後に初めて起動した場合や、現在日時と異なる場合に下記手順で、日時設定を行います。

本機を起動して、停止画面の状態でもニュー[M]ボタン(7)を押します。

停止画面



1. システム設定画面を表示します。

システム設定画面



2. システム設定画面から [⊖/⊕] ボタン(8) で、[日時] を選択し、メニュー[M]ボタン(7)を押します。

日時選択画面



3. 日時設定画面から [12H/24H] を [⊖/⊕] ボタン(8) で選択し、メニュー[M]ボタン(7)を押します。

日時設定画面



4. 時計設定画面から [12H]、または [24H] を [⊖/⊕] ボタン(8) で選択し、メニュー[M]ボタン(7)を押します。

時計設定画面



5. 選択後、日時設定画面に戻ります。
続けて、[⊖/⊕] ボタン(8) で [年月日] を選択し、メニュー[M]ボタン(7)を押します。

日時設定画面



6. 年月日設定画面で、メニュー [M] ボタン (7) を押します。

年月日設定画面



7. [年] 表示が点滅しますので、[⊖/⊕] ボタン (8) 押し、目的の数字を選択します。

年画面



8. メニュー [M] ボタン (7) を押して、次の項目に移動します。

次に [月] 表示が点滅しますので、手順 7. の操作を行います。

月画面



9. 手順 7 ~ 手順 8 を繰り返して、「年 / 月 / 日」の設定が完了したら、[V] ボタン (9) を押して決定します。

10. 決定後にもう一度、[V] ボタン (9) を押すと日時設定画面に戻ります。

11. 日時設定画面から [時刻] を [⊖/⊕] ボタン (8) で選択し、メニュー [M] ボタン (7) を押します。

日時設定画面



12. 時刻設定画面で、メニュー [M] ボタン (7) を押すと、[時] 表示が点滅しますので、[⊖/⊕] ボタン (8) 押し、目的の数字を選択します。

時刻設定画面



13. メニュー [M] ボタン (7) を押して、次の項目に移動します。

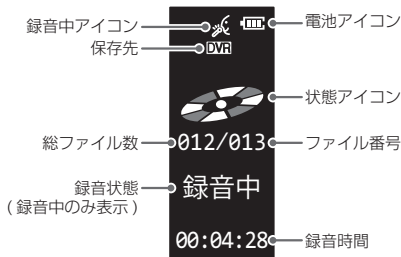
次に [分] 表示が点滅しますので、手順 12. の操作を行います。

14. 手順 12 ~ 手順 14 を繰り返して、「時 / 分 / 秒」の設定が完了したら、[V] ボタン (9) を押して決定します。

15. 決定後、システム設定内の [戻る]、または [V] ボタン (9) を押すと停止画面に戻ります。

録音するには

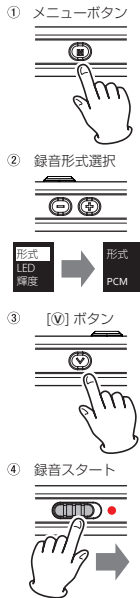
録音時の画面



- 録音中アイコン : 録音中や録音一時停止中に表示します。
- 保存先 : "DVR" 表示は、保存先が [PCM/NC/HQ/SLP](*) の各フォルダーを示します。
* 保存先の指定は、25 ページ「形式設定 (収録フォルダー)」を参照
- 総ファイル数 : フォルダー内の録音ファイル数
- 録音状態 : 録音中に表示
- 電池アイコン : 電池の残量を表示します。
- 状態アイコン : 実行中の状態をアイコンで表示
 - 録音中 : 回転表示
 - 録音一時停止中 : 点滅表示
- ファイル番号 : 録音中のファイル番号
- 録音時間 : 録音中の経過時間

録音操作

1. 本機の起動後にメニュー [M] ボタン (7) を押して、システム設定を表示します。(右図 ①)
2. [⊖/⊕] ボタン (8) で "形式" を選択し、メニュー [M] ボタン (7) を押します。(右図 ②)
 - [⊖/⊕] ボタン (8) で [PCM/NC/HQ/SLP] のいずれかの録音形式を選択し、メニュー [M] ボタン (7) で決定します。
 - 選択した録音形式で、録音ファイルの保存先を [PCM/NC/HQ/SLP] フォルダー (*) に振り分けます。
* [PCM/NC/HQ/SLP] フォルダーは、最大 [199] ファイル × 4 フォルダー (合計 796 ファイル) まで保存できます。
3. [V] ボタン (9) を押して、停止画面に戻ります。(右図 ③)
4. [●] スイッチ (6) を録音側 [●] にスライドすると録音がスタートします。(右図 ④)
録音中は、画面に録音中の状態やアイコンを表示します。



- 録音がスタートするとLED設定(*)が"オン"の場合は、動作中インジケータが[赤]に点灯し、状態アイコンが回転表示します。(右図⑤)

* LED設定は、システム設定を参照してください。(P.25)

- 本機上部にあるマイクを録音する音源の方向に向けてください。
- 録音中に[▶||]ボタン(④)を押すと、録音が一時停止します。再度、ボタンを押すと録音が再開します。(右図⑥)
- 録音の一時停止中は、状態アイコンが点滅表示します。(右図⑦)

5. 録音を終了するには、[●]スイッチ(⑥)を反対側にスライドすると録音を終了し、録音ファイルを手順2.で選択したフォルダーに保存します。(右図⑧)

6. 録音が終了すると動作表示インジケータが消灯し、状態アイコンも停止します。

⑤ 動作中インジケータ



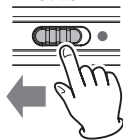
⑥ 録音一時停止



⑦ 動作中インジケータ



⑧ 録音停止



- 録音中にメニュー[M]ボタン(⑦)を長押しすると、ホールドモード(*)になり、各ボタンを無効にします。もう一度、メニュー[M]ボタン(⑦)を長押しすると、ホールドモードを解除します。
* 画面に"🔑"ホールドアイコンを表示します。

メモ

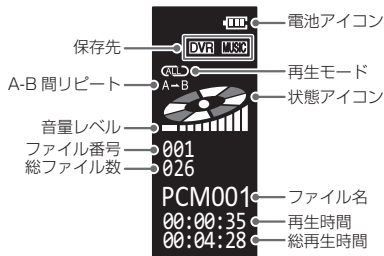
- 本機では、4種類の録音形式が選択できます。希望する録音形式を事前に選択してください。(25ページ「形式設定(収録フォルダー)」を参照)
- 保存データが使用可能なメモリー容量(*)を超える、または録音ファイルが199ファイル/1フォルダーに達すると録音を停止します。また、メモリー容量を超えた場合、画面に"メモリー残無し"と表示します。その場合、録音ファイルの一部をパソコンに保存し、保存後に本機から不要になった録音ファイルを削除し、メモリー容量を確保してください。
* 本体メモリー: 8GB
(本体の内蔵メモリーの使用可能領域は、表示容量より少なくなります。)
- 録音中は、誤動作防止により電源スイッチ(⑪)をオフにしても、電源はオフしません。その場合、手順5.を参考に一旦、録音ファイルを選択したフォルダーに保存してしてから、電源をオフ(*)します。
* USB充電器で充電中は、停止画面に戻ります。

録音中画面



再生するには

再生時の画面



- 保存先 : 下記の保存先で表示が換わります。
"DVR" : 録音フォルダー [PCM/NC/HQ/SLP]
"MUSIC" : 音楽フォルダー
- A-B 間リピート : 指定した A-B 点の区間を繰り返します。
(20 ページを参照)
- 音量レベル : 音量の大きさを表示します。
- ファイル番号 : 再生中のファイル番号
- 総ファイル数 : フォルダー内のファイル数
- 電池アイコン : 電池の残量を表示します。
- 再生モード : リピート再生 (21 ページを参照)
- 状態アイコン : 実行中の状態をアイコンで表示
- ファイル名 : 再生中のファイル名
- 再生時間 : 現在の再生経過時間
- 総再生時間 : 再生中のファイル総時間

再生操作 (録音 / 音楽ファイル)

1. 本機の起動後に、再生したいファイルを [V] ボタン (9) を長押しして、再生ファイルの保存先を [PCM/NC/HQ/SLP/MUSIC] フォルダーから選択します。(右図 ①)

- [V] ボタン (9) を長押しする毎に、選択フォルダー (*) が、下記の順に切り変わります。

[PCM/NC/HQ/SLP/MUSIC]

- * 再生中や一時停止中でも、フォルダーの切り換えは可能ですが、フォルダーを切り変える毎に、再生や一時停止状態を解除して、停止します。

- フォルダーが切り換わると画面の "ファイル名" もフォルダーに合わせて変わります。(右図 ②)

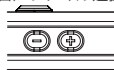
保存先表示	フォルダー
DVR	PCM
	NC
	HQ
	SLP
MUSIC	MUSIC

- 各フォルダー内に音声や音楽ファイルがない場合、約 2 秒間 "No File" と表示し、停止画面になります。(右図 ③)



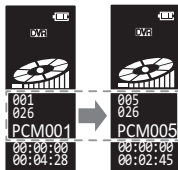
2. [⊖/⊕] ボタン (⑧) で再生したいファイル番号を選択します。
(右図 ④)

④ 音声ファイル選択



3. [▶||] ボタン (④) を押すと再生がスタートします。(右図 ⑤)

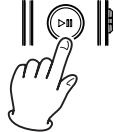
- 再生中は、状態アイコンが回転表示します。(右図 ⑥)
- 再生がスタートすると本機下部にある内蔵スピーカーから音がでます。



4. 再生中に、[▶||] ボタン (④) を押すと再生が一時停止します。

- 再生の一時停止中は、状態アイコンが点滅表示します。
(右図 ⑦)

⑤ 再生スタート



5. 再生 / 一時停止を停止するには、[▶||] ボタン (④) を長押しして、本機を停止させてください。

⑥ 再生中



⑦ 再生一時停止中



メモ

本機で再生可能な音楽ファイルは、以下のファイルフォーマットになります。

- [MP3、WAV、AAC、WMA]

メモ

- 再生中にメニュー [M] ボタン (⑦) を押すと、A-B 間リピート再生が行えます。
(20 ページ「A-B 間リピート」を参照)
- 再生中にメニュー [M] ボタン (⑦) を長押しすると、以下の再生モード設定が行えます。再生モードは、[⊖/⊕] ボタン (⑧) で選択します。

再生モード	選択項目
Repeat (*1) リピート	オフ(ノーマル)/Folder(フォルダー)/Single(1 曲)
再生速度 (*2)	[-8](遅く)~[+8](速く)の±8段階(4%刻み)

*1 リピート再生の機能については、21 ページ「リピート設定」を参照。

*2 再生速度の設定方法は、22 ページ「再生速度設定」を参照。

- 停止中や再生一時停止中にメニュー [M] ボタン (⑦) を長押しすると、選択中の音声 / 音楽ファイルの消去、または選択中のフォルダー内全ての音声 / 音楽ファイルの全消去ができます。(23 ページ「消去 / 全消去設定 (File)」を参照)
[消去 / 全消去] は、[⊖/⊕] ボタン (⑧) で選択します。
- 操作を終了して前の画面に戻る場合、選択メニュー内の [戻る] を選択して、メニュー [M] ボタン (⑦) 押すか、[V] ボタン (⑨) を押すと前の画面に戻ります。

再生中に操作可能な動作

本機は、再生中に以下の動作が可能です。

操作ボタン	ボタン操作	本機の動作		画面アイコン
▶ ボタン	1 回押し	回転	再生	
		点滅	一時停止	
	長押し	停止	停止	
⊖ ボタン	1 回押し	後へ (前曲の先頭から再生開始)		--
	長押し	早戻し (曲の先頭まで戻り、ボタンを離すと停止)		--
⊕ ボタン	1 回押し	前へ (次曲の先頭から再生開始)		--
	長押し	早送り (曲の終わりまで進み、ボタンを離すと次曲を再生)		--
メニュー [M] ボタン	1 回押し	A-B 間リピート再生		A → B
	長押し	Repeat	Folder	
			Single	
		再生速度 [- 8] ~ [+ 8]		--
音量 [V] ボタン	1 回押し	音量設定		
	長押し	フォルダー切換え		--

A-B 間リピート

録音 / 音楽ファイルを再生中に、指定した A 点と B 点の間を繰り返し、リピート再生を行います。
(自動的に 5 回リピート後、通常再生に戻ります。)

18 ページの [再生操作] を参考に、① メニューボタン再生するファイルを選択して、再生を開始します。

1. 再生中にメニュー [M] ボタン (7) を押します。(右図 ①)

2. 画面に [A → B] アイコンを表示し、[A] アイコンが点滅した状態になります。(右図 ②)

3. リピートを開始したい箇所 (A 点) で、メニュー [M] ボタン (7) を押します。(右図 ③)

4. [A] アイコンが点滅から点灯に変わり、[B] アイコンが点滅した状態になります。(右図 ④)

5. リピートを終了したい箇所 (B 点) で、メニュー [M] ボタン (7) を押すと、[B] アイコンが点灯に変わり、A-B 間のリピート再生をスタートします。

6. AB リピート再生を終了したい場合、もう一度メニュー [M] ボタン (7) を押すと、[A → B] アイコンが消えて通常再生に戻ります。



② A 点 (開始点) 選択



③ メニューボタン



④ B 点 (終了点) 選択



リピート設定

リピート再生の設定を行います。

18ページの[再生操作]を参考に、再生するファイルを選択して、再生を開始します。

1. 再生中にメニュー [M] ボタン (7) を長押しします。
2. 画面に再生モードを表示します。

[⊖/⊕] ボタン (8) で [Repeat] を選択し、メニュー [M] ボタン (7) で決定します。

再生モード選択画面



- [戻る] を選択する、または [V] ボタン (9) を押し、再生画面に戻ります。

3. [⊖/⊕] ボタン (8) で目的のリピート再生方法を選択し、メニュー [M] ボタン (7) で決定します。

リピート再生選択画面



- リピート再生機能は、次表を参照してください。

4. [V] ボタン (9) を押し、再生画面に戻ります。

再生方法	アイコン	本機の動作
オフ (ノーマル)	--	フォルダー内全てのファイルを順番に再生して、最後のファイルで停止します。
Folder (フォルダー)		フォルダー内全てのファイルを順番に繰り返し再生を行います。
Single (1曲)		1 ファイルを繰り返し再生を行います。

Folder アイコン



Single アイコン



メモ

- 再生方法を選択すると、前の画面 (再生モード選択画面) に戻ります。
- 再生 / 一時停止中に、[▶ ||] ボタン (4) を長押しすると停止状態になります。

再生速度設定

再生時の再生速度を設定できます。

18 ページの [再生操作] を参考に、再生するファイルを選択して、再生を開始します。

1. 再生中にメニュー [M] ボタン (7) を長押しします。
2. 画面に再生モードを表示します。

[⊖/⊕] ボタン (8) で [再生速度] を選択し、メニュー [M] ボタン (7) で決定します。

再生モード選択画面



- [戻る] を選択すると再生画面に戻ります。
3. [⊖/⊕] ボタン (8) で目的の再生速度を選択し、メニュー [M] ボタン (7) で決定します。
 - [-8 (遅く)] ~ [+8 (速く)] の±8段階(4%刻み)で、設定可能です。

再生速度選択画面



4. 再生速度を選択後にもう一度、メニュー [M] ボタン (7) を押し、再生画面に戻ります。

音量設定

本機の再生時の音量を設定できます。

1. 停止 / 再生中に [V] ボタン (9) を押します。
2. 画面に マークが点滅し、音量設定モードをお知らせします。

音量設定画面



3. マークが点滅中に [⊖/⊕] ボタン (8) で目的の音量に設定します。
 - [MIN・1・5・9・MAX] の11段階で設定可能です。

音量選択画面



4. マークが消えると音量設定モードを解除します。

消去 / 全消去設定 (File)

保存したファイルの削除方法を選択します。

メモ

削除したいファイルやフォルダーを決めてから、[File 消去]、または [全消去] を行ってください。

1. 本機の起動後に、[V] ボタン (9) を長押しして、消去したいファイル、またはフォルダーを保存先の [PCM/NC/HQ/SLP/MUSIC] フォルダーから選択します。
2. ファイル、またはフォルダーを選択後、停止画面の状態 でメニュー [M] ボタン (7) を長押しします。
3. 画面に消去メニューを表示します。

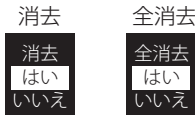
消去 / 全消去 選択画面



消去
全消去
戻る

4. [消去]、または [全消去] を [⊖/⊕] ボタン (8) で選択し、メニュー [M] ボタン (7) を押します。
5. 画面に実行メニューを表示します。

消去 / 全消去 実行画面



消去 全消去
消去 全消去
はい はい
いいえ いいえ

6. 実行メニューから、[はい]、または [いいえ] の項目を [⊖/⊕] ボタン (8) で選択し、メニュー [M] ボタン (7) で決定します。
 - 消去の完了後、画面に [消去完了] を一瞬、表示します。

消去完了画面



消去
完了

7. [消去]、または [全消去] が完了すると、停止画面に戻ります。

設定メニュー	本機の動作
File 消去	選択中の録音ファイルを削除します。
全消去	選択中のフォルダー内の全ての録音ファイルを削除します。

メモ

[全消去] を選択して、フォルダーを消去した場合、フォルダー選択時に約 2 秒間 "No File" と表示し、停止画面になります。

No File 画面



PCM
No File

システム設定

各種設定メニューの内容

設定メニュー	モードメニュー				詳細	
形式	PCM	NC	HQ	SLP	P.25	
LED	オン		オフ		P.25	
輝度	0～6段階				P.26	
消灯	15秒	30秒	60秒	オン	P.26	
待機	5分	15分	30分	60分	オフ	P.27
モニタ	オン		オフ		P.27	
操作音	オン		オフ		P.28	
言語	日本語		English		P.28	
残時間	録音可能残時間を表示				P.29	
日時設定	時計設定		日時設定		P.29	
初期化	はい		いいえ		P.31	
FW	Ver X.XX				P.32	
リセット	はい		いいえ		P.32	

本体操作

1. 本機の起動後、停止画面の状態でもメニュー [M] ボタン (7) を押します。

停止画面



2. システム設定画面を表示しますので、目的の項目を [←/→] ボタン (8) で選択し、メニュー [M] ボタン (7) で決定します。

システム設定画面



- システム設定内の [戻る]、または [V] ボタン (9) を押すと前の画面に戻ります。

形式設定（収録フォルダー）

録音を行う際の録音形式の設定を行います。

24 ページの [本体操作] を参考に、システム設定画面を表示します。

1. [⊖/⊕] ボタン (⑧) で、[形式] を選択し、メニュー [M] ボタン (⑦) を押します。
2. 形式選択画面から [PCM/NC/HQ/SLP] のいずれかを [⊖/⊕] ボタン (⑧) で選択し、メニュー [M] ボタン (⑦) で決定します。

形式選択画面

形式

PCM

3. 決定後、前の画面に戻ります。システム設定内の [戻る]、または [V] ボタン (⑨) を押すと停止画面に戻ります。

形式	ビットレート	拡張子	音質	録音ファイル名 / (サイズ)
PCM	1536 kbps	WAV	最高音質	PCM 001.WAV / (大)
NC	256 kbps	WAV	高音質	RNC 001.WAV / (大)
HQ	128 kbps	MP3	通常音質	RHQ 001.MP3 / (中)
SLP	8 kbps	MP3	低音質	SLP 001.MP3 / (小)

メモ

- SLP モードは、長時間録音が優先のため、録音品質が低くなります。大事な録音を行う際は、HQ モード以上、または周りの騒音ノイズを軽減して、録音を行う際には NC モード (ノイズキャンセル) で、録音することを推奨します。
- 録音形式の初期設定は、[PCM] になっています。

LED 設定（録音時）

録音中の動作表示インジケータの LED 点灯を設定します。24 ページの [本体操作] を参考に、システム設定画面を表示します。

1. [⊖/⊕] ボタン (⑧) で [LED] を選択し、メニュー [M] ボタン (⑦) を押します。
2. LED 設定画面から [オン・オフ] のいずれかを [⊖/⊕] ボタン (⑧) で選択し、メニュー [M] ボタン (⑦) で決定します。

LED 設定画面

LED

オン

LED

オフ

3. 決定後、前の画面に戻ります。システム設定内の [戻る]、または [V] ボタン (⑨) を押すと停止画面に戻ります。

輝度設定

画面の明るさを調整します。

24 ページの [本体操作] を参考に、システム設定画面を表示します。

1. [\ominus/\oplus] ボタン (⑧) で [輝度] を選択し、メニュー [M] ボタン (⑦) を押します。
2. 輝度設定画面から [\ominus/\oplus] ボタン (⑧) で輝度レベルを調整し、メニュー [M] ボタン (⑦) で決定します。

輝度設定画面



● 左 (暗く) から右 (明るく) に 6 段階で設定可能です。

3. 決定後、前の画面に戻ります。システム設定内の [戻る]、または [\checkmark] ボタン (⑨) 押すと停止画面に戻ります。

消灯設定

一定時間本機を使用しない場合、画面の表示を設定した時間で消灯します。

24 ページの [本体操作] を参考に、システム設定画面を表示します。

1. [\ominus/\oplus] ボタン (⑧) で [消灯] を選択し、メニュー [M] ボタン (⑦) を押します。
2. 消灯設定画面から目的の項目を [\ominus/\oplus] ボタン (⑧) で選択し、メニュー [M] ボタン (⑦) で決定します。

消灯設定画面



● [15 秒] ~ [60 秒]、[オン] の間で設定可能です。

モード	本機の動作
15 秒	無操作状態の場合、15 秒後に画面消灯
30 秒	無操作状態の場合、30 秒後に画面消灯
60 秒	無操作状態の場合、60 秒後に画面消灯
オン	常時画面をオン

3. 決定後、前の画面に戻ります。システム設定内の [戻る]、または [\checkmark] ボタン (⑨) 押すと停止画面に戻ります。

待機設定 (自動オフ)

一定時間本機を使用しない場合、設定した時間で電源をオフにします。

* 充電中は、待機設定に関係なく常時オンになります。

24 ページの [本体操作] を参考に、システム設定画面を表示します。

1. [⊖/⊕] ボタン (⑧) で [待機] を選択し、メニュー [M] ボタン (⑦) を押します。
2. 待機設定画面から目的の項目を [⊖/⊕] ボタン (⑧) で選択し、メニュー [M] ボタン (⑦) で決定します。

待機設定画面



- [5 分] ~ [60 分]、[オフ] の間で設定可能です。

モード	本機の動作
5 分	無操作状態の場合、5 分後に電源オフ
15 分	無操作状態の場合、15 分後に電源オフ
30 分	無操作状態の場合、30 分後に電源オフ
60 分	無操作状態の場合、60 分後に電源オフ
オフ	常時電源をオン

3. 決定後、前の画面に戻ります。システム設定内の [戻る]、または [V] ボタン (⑨) 押すと停止画面に戻ります。

- 待機状態からの復帰方法は、[▶ ||] ボタン (④) の長押しで復帰します。

モニター設定

イヤホンから録音中の音声聞こえるように設定します。24 ページの [本体操作] を参考に、システム設定画面を表示します。

1. [⊖/⊕] ボタン (⑧) で [モニタ] を選択し、メニュー [M] ボタン (⑦) を押します。
2. モニター設定画面から [オン・オフ] のいずれかを [⊖/⊕] ボタン (⑧) で選択し、メニュー [M] ボタン (⑦) で決定します。

モニター設定画面



3. 決定後、前の画面に戻ります。システム設定内の [戻る]、または [V] ボタン (⑨) 押すと停止画面に戻ります。

モード	本機の動作
オフ	録音中、イヤホンから音声は聞こえません。
オン	録音中、イヤホンから音声聞こえます。

操作音設定

本機の操作時にピープ音を設定できます。

24 ページの [本体操作] を参考に、システム設定画面を表示します。

1. [⊖/⊕] ボタン (⑧) で [操作音] を選択し、メニュー [M] ボタン (⑦) を押します。
2. 操作音設定画面から [オン・オフ] のいずれかを [⊖/⊕] ボタン (⑧) で選択し、メニュー [M] ボタン (⑦) で決定します。

操作音選択画面



3. 決定後、前の画面に戻ります。システム設定内の [戻る]、または [V] ボタン (⑨) 押すと停止画面に戻ります。

言語設定

画面で表示する言語を選択できます。

24 ページの [本体操作] を参考に、システム設定画面を表示します。

1. [⊖/⊕] ボタン (⑧) で [言語] を選択し、メニュー [M] ボタン (⑦) を押します。
2. 言語選択画面から目的の言語を [⊖/⊕] ボタン (⑧) で選択し、メニュー [M] ボタン (⑦) で決定します。

言語選択画面



3. 決定後、前の画面に戻ります。システム設定内の [戻る]、または [V] ボタン (⑨) 押すと停止画面に戻ります。

メモ

工場出荷時の設定は、[日本語] になっています。

残時間

本体のメモリの録音可能残時間が確認できます。
24 ページの [本体操作] を参考に、システム設定画面を表示します。

1. [\ominus/\oplus] ボタン (⑧) で [残時間] を選択し、メニュー [M] ボタン (⑦) を押します。

残時間情報画面



2. 本体メモリの録音可能残時間 (*) を表示します。確認後、システム設定内の [戻る]、または [∇] ボタン (⑨) 押すと停止画面に戻ります前の画面に戻ります。

* 録音可能残時間は、参考値としてお使いください。

日時設定

本機の日時設定を行います。
24 ページの [本体操作] を参考に、システム設定画面を表示します。

1. [\ominus/\oplus] ボタン (⑧) で、[日時] を選択し、メニュー [M] ボタン (⑦) を押します。

日時選択画面



2. 日時設定画面から [12H/24H] を [\ominus/\oplus] ボタン (⑧) で選択し、メニュー [M] ボタン (⑦) を押します。

日時設定画面



3. 時計設定画面から [12H]、または [24H] を [\ominus/\oplus] ボタン (⑧) で選択し、メニュー [M] ボタン (⑦) を押します。

時計設定画面



4. 選択後、日時設定画面に戻ります。
続けて、[⊖/⊕] ボタン (⑧) で [年月日] を選択し、
メニュー [M] ボタン (⑦) を押します。

日時設定画面



5. 年月日設定画面で、メニュー [M] ボタン (⑦) を押します。

年月日設定画面



6. [年] 表示が点滅しますので、[⊖/⊕] ボタン (⑧) 押し、
目的の数字を選択します。

年画面



7. メニュー [M] ボタン (⑦) を押して、次の項目に移動し
ます。
次に [月] 表示が点滅しますので、手順 6. の操作を行
います。

月画面



8. 手順 6 ~ 手順 7 を繰り返して、「年 / 月 / 日」の設定が
完了したら、[V] ボタン (⑨) を押して決定します。
9. 決定後にもう一度、[V] ボタン (⑨) を押すと日時設定
画面に戻ります。
10. 日時設定画面から [時刻] を [⊖/⊕] ボタン (⑧) で選択し、
メニュー [M] ボタン (⑦) を押します。

日時設定画面



11. 時刻設定画面で、メニュー [M] ボタン (⑦) を押すと、
[時] 表示が点滅しますので、[⊖/⊕] ボタン (⑧) 押し、
目的の数字を選択します。

時刻設定画面



12. メニュー [M] ボタン (⑦) を押して、次の項目に移動し
ます。
次に [分] 表示が点滅しますので、手順 11. の操作を行
います。
13. 手順 11 ~ 手順 12 を繰り返して、「時 / 分 / 秒」の設
定が完了したら、[V] ボタン (⑨) を押して決定します。
14. 決定後、システム設定内の [戻る]、または [V] ボタ
ン (⑨) 押すと停止画面に戻ります。

初期化設定

本体を初期化します。

注意

- 初期化を行うと全てのファイルおよびフォルダーが削除されます。
- 初期化を行う場合には、重要なファイルを必ず、PC等にコピーや移動してから初期化を実行してください。

24 ページの [本体操作] を参考に、システム設定画面を表示します。

1. [戻る] ボタン (⑧) で [初期化] を選択し、メニュー [決定] ボタン (⑦) を押します。
2. 初期化実行画面を表示します。実行画面から [戻る] ボタン (⑧) で [はい・いいえ] を選択し、メニュー [決定] ボタン (⑦) で決定します。

初期化実行画面



3. 初期化中は、画面に " 処理中 " を表示します。初期化が完了後、前の画面に戻ります。次に、[RECORD/MUSIC フォルダーの生成] を行います。

RECORD/MUSIC フォルダーの生成

4. フォルダー構造を構築するため、電源をオフにします。
5. 再度、電源をオンにして、停止状態で画面の保存先フォルダー [DVR]、または [MUSIC] フォルダーを確認します。

DVR



MUSIC



- [DVR] : 録音ファイル保存先
 - [MUSIC] : 音楽ファイル保存先
6. 保存先フォルダーが [DVR] の場合、[戻る] ボタン (⑨) を長押しして、[MUSIC] フォルダーが表示するまで、フォルダー切換えを行ってください。
 - [MUSIC] フォルダーの生成保存先フォルダーが [MUSIC] の場合、上記の手順で [DVR] フォルダーが表示するまで、フォルダー切換えを行ってください。
 - [RECORD] フォルダーの生成

メモ

[DVR] および [MUSIC] フォルダーを切換える際に、それぞれのフォルダーが生成されます。

FW 情報

本機のファームウェア情報を表示します。

24 ページの [本体操作] を参考に、システム設定画面を表示します。

1. [⊖/⊕] ボタン (⑧) で [FW] を選択し、メニュー [M] ボタン (⑦) を押します。
2. FW 画面を表示します。

FW 画面



version
ver 1.0
XXXXXXX

3. メニュー [M] ボタン (⑦)、または [V] ボタン (⑨) を押すと前の画面に戻ります。
4. システム設定内の [戻る]、または [V] ボタン (⑨) 押すと停止画面に戻ります。

Reset(リセット)

本機の設定を工場出荷状態に戻します。

メモ

録音ファイル、音楽ファイルは消去されません。

24 ページの [本体操作] を参考に、システム設定画面を表示します。

1. [⊖/⊕] ボタン (⑧) で [Reset] を選択し、メニュー [M] ボタン (⑦) を押します。
2. Reset 実行画面から [⊖/⊕] ボタン (⑧) で [はい]、または [いいえ] を選択し、メニュー [M] ボタン (⑦) で決定します。

Reset 実行画面



Reset
いいえ



Reset
はい

- [いいえ] を選択した場合、1 つ前の画面に戻ります。システム設定内の [戻る]、または [V] ボタン (⑨) 押すと停止画面に戻ります。
- リセット完了後、本機は工場出荷時の状態に戻ります。

注意

本機を初期化した場合、「Reset」を行っても、[RECORD/MUSIC] フォルダは、生成されません。31 ページ「RECORD/MUSIC フォルダの生成」を参照して、必要なフォルダを生成してください。

トラブルシューティング

電源がオンしない、すぐに電源がオフしてしまう。

- 内蔵バッテリーが空の可能性がありますが。USB ケーブルが接続されている場合は接続し直して、本機の充電を行ってください。

録音中に一時停止できない、動作しない

- 録音中に [▶ ||] ボタン (④) が動作しない場合、画面に "🔑" のホールドアイコンが表示されているとホールド状態です。メニュー [M] ボタン (⑦) を長押しすると、ホールドモードを解除します。
 - ホールドされていない状態で、ボタン類が動作しない場合は、[▶ ||] ボタン (④) を 8 秒以上長押ししてください。強制ハードリセットになり、本機の電源を一度オフにし、再起動します。再起動後、電源スイッチ (⑪) がオンになっている場合
 - ハードリセット前に再生 / 再生一時停止中だった場合、再起動後に停止状態に戻ります。
 - ハードリセット前に録音 / 録音一時停止中だった場合、再起動後に録音状態に戻ります。(*)
- * 録音中にハードリセットすると録音ファイルは、"ERROR" と表示され、再生できなくなります。

パソコンに認識されない

- 接続不良の可能性がありますが。USB ケーブルを抜いて、各端子にもう一度、しっかり差し込んでください。
- 付属の USB ケーブル以外で接続している場合、動作保証ができません。

音楽ファイルが再生されない

- 本機で対応している音楽フォーマット以外は、再生できません。また、著作権保護された音楽ファイルも再生できません。
- 音楽ファイルは、本体の [MUSIC] フォルダの直下に入れてください。他のフォルダでは、認識できない場合があります。

音が出ない

- 音量設定は、適切ですか？また、イヤホンをお使いの場合、イヤホン端子が本機にしっかりと差し込んでいるか、確認してください。

仕様 / 定格

レコーダー部仕様

記録メディア

本体メモリー(*) : 8 GB

* 本体の内蔵メモリーの使用可能領域は、表示容量より少なくなります。

チャンネル数 : 2チャンネル (ステレオ)

最大録音ファイル数

[PCM/NC/HQ/SLP] フォルダ

: 199 ファイル / 1 フォルダ

総合計 796 ファイル

[MUSIC] フォルダ

: 200 ファイル / 1 フォルダ

入出力定格

内蔵マイク : コンデンサーマイク×2 (無指向性)

内蔵スピーカー : 最大出力 450 mW (モノラル)

イヤホン端子 : ϕ 3.5 mm ステレオミニ端子

イヤホン出力 : 10 mW+10 mW (16 Ω)

コントロール入出力定格

USB 端子

コネクタ : micro-B type

フォーマット : USB2.0 HIGH SPEED
マストレージクラス

オーディオ性能

周波数特性 (再生時)

50 ~ 22 kHz \pm 3 dB
(PCM Fs48 kHz/16 bit、JEITA(*))

* JEITA : JEITA CP-2150 準拠

S/N 比 : 90 dB 以上 (再生時)

一般

内蔵バッテリー

リチウムイオンバッテリー (310 mAh)

充電完了時間 : 約 2.5 時間 (フル充電)

充電電圧 / 電流 : 5 V/0.5 A

消費電力 : 0.3 W (イヤホン接続時)

外形寸法 : 21 x 98.2 x 13.8 mm
(幅 x 高さ x 奥行き)

質量 : 54.5 g

動作温度 : 5 ~ 35 $^{\circ}$ C
20 ~ 80% (結露なき事)

- 取扱説明書のイラストが、一部製品と異なる場合があります。
- 製品の改善により、仕様および外観が予告なく変更することがあります。

動作表示インジケータリスト

- USB 充電器を使用して充電中の LED 表示 (*)

充電中	操作	LED	
		色	状態
電源オフ	(電源オン + 停止)	赤	点滅
電源オン	停止		点滅
電源オン	再生		点滅
電源オン	再生一時停止		点滅
電源オン	録音		点灯
電源オン	録音一時停止		点灯

- 充電していない場合の LED 表示

操作	LED	
	色	状態
録音中	赤	点灯
録音一時停止		
再生中	--	--
再生一時停止	--	--

* パソコンからのバスパワーでは、操作できません。

録音形式 / 録音時間 (参考値)

録音形式	PCM	NC (ノイズキャンセル)	HQ	SLP
録音可能時間 (本体メモリー 8GB)	11 時間	68 時間	135 時間	2160 時間
フォーマット	WAV		MP3	
サンプリング 周波数 / bit	48 kHz / 16 bit	8 kHz / 16 bit	32 kHz	8 kHz
ビットレート	1536 kbps (ステレオ)	256 kbps (ステレオ)	128 kbps (ステレオ)	8 kbps (モノラル)
最長連続録音時間 / 1 ファイル	1 時間	10 時間	10 時間	10 時間
録音ファイル名	PCM 001.WAV	RNC 001.WAV	RHQ 001.MP3	SLP 001.MP3

- 測定条件：本体メモリーを初期化

* 最長連続録音時間を超えて録音が継続する場合は、一度ファイルの保存を行い、分割して録音を継続します。
録音可能時間は、参考値としてお使いください。

再生形式

再生可能形式	サンプリング周波数 (kHz)	ビットレート (kbps)	量子化 bit
WAV	12/ 24/ 32/ 44.1/ 48	--	16/24 bit
MP3	8 ~ 48	8 ~ 320,VBR	--
WMA	8 ~ 48	8 ~ 320	--
AAC	8 ~ 48	8 ~ 320	--

電池持続時間 (参考値)

録音時間 (使用環境、条件によっては、録音時間が短くなる場合があります。)

録音形式	最高音質	屋外	標準	最長時間
	PCM	NC	HQ	SLP
録音可能時間 (*) (フル充電 / 内蔵メモリー)	9 時間	9 時間	8 時間 30 分	10 時間

* 録音可能時間は、参考値としてお使いください。

5 時間以上の長時間連続録音する場合は、できるだけ USB 充電器から充電しながら録音してお使いください。

再生時間 (使用環境、条件によっては、再生時間が短くなる場合があります。)

再生形式	最高音質	屋外	標準	最長時間
	PCM	NC	HQ	SLP
再生可能時間 (*) (フル充電 / 内蔵メモリー)	8 時間	8 時間 30 分	11 時間 30 分	12 時間

● 測定条件：イヤホン接続時 (再生時の音量によって時間が大きく変わります。)

* 再生時間は、参考値としてお使いください。

6 時間以上の長時間連続再生やスピーカーで音声を再生する場合は、できるだけ USB 充電器から充電しながら再生してお使いください。

商標および著作権に関して

- TASCAMおよびタスカムは、ティアック株式会社の登録商標です。
- MPEG Layer-3 audio coding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson Licensing.
- Supply of this product does not convey a license nor imply any right to distribute MPEG Layer-3 compliant content created with this product in revenue-generating broadcast systems (terrestrial, satellite, cable and/or other distribution channels), streaming applications (via Internet, intranets and/or other networks), other content distribution systems (pay-audio or audio-on-demand applications and the like) or on physical media (compact discs, digital versatile discs, semiconductor chips, hard drives, memory cards and the like).
An independent license for such use is required. For details, please visit <http://mp3licensing.com>.
- Microsoft and Windows are either registered trademarks or trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.
- その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。



TASCAM ID 登録について

TASCAM ID ご登録者様には、製品情報や大切なお知らせをメールマガジンにてお届けしますので、ぜひご登録をお願いいたします。



ご登録はこちらから

<https://tascamid.tascam.jp/int/login/>


ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合 1-47

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム カスタマーサポート

〒206-8530 東京都多摩市落合 1-47


- 電話 **042-356-9137** 携帯電話・PHS・IP 電話から
- ナビダイヤル  **0570-000-809** 一般電話から
- FAX **042-356-9185**

受付時間は、10:00～12:00/13:00～17:00です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センター

〒358-0026 埼玉県入間市小谷田 858

- 電話 **04-2901-1033** 携帯電話・PHS・IP 電話から
- ナビダイヤル  **0570-000-501** 一般電話から
- FAX **04-2901-1036**

受付時間は、9:30～12:00/13:00～17:00です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

■ 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。



保証書

無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、ティアック修理センターが無料修理致します。
 - 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、本書をご提示の上、ティアック修理センターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前にティアック修理センターにお問い合わせください。無償修理の対象は、お客様が日本国内において購入された日本国内向け当社製品に限られます。
 - ご転居や贈答品などでお買い上げの販売店に修理をご依頼にならない場合は、ティアック修理センターにご連絡ください。
 - 次の場合には、保証期間内でも有償修理となります。
 - ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
 - お買い上げ後の輸送・移動・落下による故障および損傷
 - 水災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧による故障および損傷
 - 故障しているほかの機器に起因する故障および損傷
 - 業務上の長時間使用など、特に不適切な使用された場合の故障および損傷
 - メンテナンス
 - 本書の提示がない場合
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名（印）の入のない場合、あるいは字句を書き加えた場合
 - 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
 - 本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
- * この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとに限り無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、ティアック修理センターにお問い合わせください。

修理メモ

Stereo IC Recorder VR-01

品名 および 形名	Stereo IC Recorder VR-01	
機番		

ご購入日	年	月
お客様名	お	

この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとに限り無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から上記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、取扱説明書に記載のティアック修理センターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

販売店	
電話	()

お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただきます。場合がございましたので、ご了承ください。